

February 10, 2002

寒川ライオンズクラブ会員各位

YE生 Tan Chee Eer
(タン・チー・イーア)

親愛なる寒川ライオンズの皆様

4週間の長いホームステイの旅を終えて、無事帰国し、久しぶりに懐かしい家族と会うことができました。滞在中は大変お世話になりました。ありがとうございました。わたしにとって、はじめての一人旅でしたが、たくさんのYE生と日本のライオンズクラブの人達との交流で、全然寂しくありませんでした。帰ってから、寒川や川崎でのたくさんの経験を、写真を見ながら毎日家族にお話ししています。2週間のなかで、ほんとにたくさんのことがありました。

- ★ クリスマス会におくり迎えしてもらい、たのしい時間をすごせたこと
- ★ お寺はお客さんが毎日来られてとても忙しいこと
- ★ 仏教の行事を知ったこと／神道と日本人のつながりを知ったこと
- ★ 12月の暮れに、おもちつきをして、お菓子を作ったこと
- ★ 寒川神社の坂本さんのお宅にホームステイさせていただいたこと。また皇居に連れて行ってもらえたこと。着物を着て写真を撮ったこと
- ★ 次の日に、箱根駅伝に連れて行ってもらったこと。帰りに、茅ヶ崎の町を散歩したこと
- ★ 石黒さんの家で、牛の世話をしたこと
- ★ 杉原さんと横浜に行ってダンスパーティーに参加させていただいたこと
- ★ 鶴嶺高校に体験入学したこと
- ★ 菊地さん達とディズニー・シーで一日遊んだこと
- ★ 御殿場のアウトレットでショッピングできたこと
- ★ 名古屋ライオンズクラブの高坂さんと会えたこと
- ★ さむかわ国際交流協会の新春のつどいにさんかさせてもらったこと
- ★ 近くの“どんど焼き”で団子を涙を流しながら焼いたこと

最後に

たくさんの思い出をいただいて私は幸せでした。ラッキーでした。学校を卒業したら、また日本を訪れたい。そして、日本語を覚えて、もっと深く日本人を知り、もっと日本を好きになりたいと思います・

オセワナリマシタ・アリガトウゴザイマシタ・

皆様のご発展をお祈りいたします。

寒川ライオンズクラブ
遠藤会長
クラブメンバー各位

米国カリフォルニア州エル・ドラド・ヒルズ
Max Kendall
(マックス・ケンドール)

寒川ライオンズクラブの皆様ありがとうございました

寒川ライオンズクラブの皆様、お元気でいらっしゃいますか。ご無沙汰して申し訳ありませんでした。8月5日に成田空港を出発して約一ヶ月ぶりに無事家族と会うことが出来ました。寒川での16日間のホームステイがまるで夢を見てきたような気持ちで、今ひとつ一つ思い出しております。とても楽しかった。みなさんがとても親切に迎えてくださり、とてもうれしかったです。

寒川に着いたその日に、特別の着物をきせていただいて“おみこし”を担がせていただいたことは、生まれて初めての体験でした。アメリカでは様々なパレードがありますが、主に主役は女性です。男性が威勢良く、かけ声を出して真剣にパレードするというイベントは見たことはありません。あの小さなお宮のなかには何があるのか、今でもわかりません。楽しかったけど、翌日になって肩が痛くて困りました。

富士山に登るのは私の夢でした。夢を実現してくださってありがとうございます。鈴木さん、石黒さん、早朝からお世話になりありがとうございました。杉原様、中嶋様、大久保様、皆川様、小野寺様、そして遠藤会長さんには特にお世話になりました。慶応大学のキャンパス、箱根の大きな湖（名前を忘れました）、横浜の水族館（シー・パラダイス？）寒川神社の剣道教室、お寺の生活と坐禅、居酒屋での宴会、みんな覚えています。

今度のYEプログラムに参加して、前よりももっともっと日本が好きになりました。私の日本語はどうでしたか？まだ2年しか習っていませんので、これからもっと勉強して来年の夏休みには、是非もう一度訪れてみたいと思っています。その前に大学に入学しなければなりません。私はお父さんのようにエンジニアを希望しています。

最後にみなさんのご健勝をお祈りします。それから、これからも素晴らしいYE活動を続けて、日本の良さを世界中に伝えてください。

本当にありがとうございました。